

ハート基金&いちサポ補助金
いちかわ市民活動サポート制度

2023/12月
No.009

市民活動に活用
「いちサポ補助金」



いつも新しい流れがある 市川

活動集
特集



オレンジスマイルいちかわ 実行委員会

～認知症の人と一緒に、
誰もが暮らしやすい市川をつくる～



市民活動全体に対する総合的な支援に向けて
市は、市民活動団体が行う事業のサポートを行うとともに
「①活動する市民を増やす」
「②市民活動のファンを増やす」
といった市民活動全体に対し、総合的なサポートを行うため
「いちかわ市民活動サポート制度（通称：いちサポ）」を
平成28年度に立ち上げました。



— 掲載項目 —

いちサポ補助金交付団体 活動紹介 / いちかわ市民活動サポート制度について

【特集】いちサポ補助金交付団体 活動紹介



委員長 桜井 健司 氏

友人に誘われて参加したRUN伴※1にて、認知症の方が生き生きとした表情を浮かべているのを見たことをきっかけに、一念発起。市川でも是非やろうと決心し、仲間を募り実行委員会を立ち上げました。

※1 認知症になっても安心して暮らせる地域になることを目指して、認知症の人、家族、地域の人たちが一緒にタスキリレーを行う全国規模のイベント

いちサポ補助金

× 禪のストーリー
つなごう、未来へ

オレンジスマイルいちかわ 実行委員会

「認知症の人と一緒に、誰もが暮らしやすい市川をつくる」を合言葉に、地域共生社会の実現と市民の健康意識を高めるムーブメントのひとつになることを目指して活動しています。

活動のアレコレ！
ご本人にお聞きしました！

インタビュー

ー オレンジスマイルいちかわとは？

桜井氏：認知症の理解啓発のみならず、市川市で活動する多様な人々が参画し、イベント参加を通して共生社会と健康への意識を高め、誰もが暮らしやすい市川をめざすプロジェクトです。年に一度、認知症の当事者、家族、支援者、一般の地域住民が少しづつリレーをしながらタスキをつなぎゴールを目指すランウォークイベントと、ゴールイベントを開催しています。

ー オレンジスマイル実行委員会のメンバーのことを教えて？

桜井氏：大学生から介護、福祉、医療の専門職、会社経営者など、年齢も10代から60代までと、多様なメンバーで構成されています。それぞれの強みを活かし相手を尊重しながら議論を重ねています。特に大学生は自分たちのアイデアを実現するプロセスを体現するアクティブラーニングの機会にもなっています。地域の高齢者、障がい者や社会との関わりに不安を抱えている人にも、応援グッズの制作、Tシャツプリントと発送、資材運搬や販売ブース出店など準備段階から関わっていただいています。

ー いちサポ補助金を申請した理由は？

桜井氏：私どもの活動は、本補助金の目的である市民参加の促進、市民福祉の増進に通じるものにとらえ、申請させて頂きました。本イベントの運営はタスキリレーの参加費の他に、企業からの協賛金収入が柱となっています。参加者の経済的負担はなるべく抑え、継続的な活動を行っていくことで、目的の実現を目指していきます。

補助金の流れ

対象：NPO法人や任意団体

<活動の計画>

年間の活動を会員みんなで検討し、計画を立てます。
また、補助金の活用についても検討します。



<補助金の申請>

補助金を受ける目的、活動することで地域にどれだけの利益をもたらすことができるかを申請書でPRします。

<補助金の活用>

実際の事業・活動に必要な経費に対し、補助金を充当することや、これまでから拡充した経費に充当することで、充実や発展を目指します。



本冊子ご紹介の団体での活用例

報償費	フレイル予防体操指導員他
消耗品費	風船、養生テープ、筆記用具他
印刷製本費	ポスター、チラシ等印刷

<実際の活動>

活動計画や補助金申請の際に記載した事項に則り、実際の活動を行います。



<活動実績の報告>

活動の報告、補助金を活用した費目に係る収支決算書を作成し、実績の報告を行います。



<補助金の受取>

実績報告後、確定した補助金額を市から受け取ります。
※概算払で事前に受け取っていた場合、差額の返金が必要となることもあります。

■ 詳しい内容については「補助金ガイドブック」をご覧ください
ボランティア・NPO課の窓口でお渡し、または市公式Webサイトからもご覧いただけます。

いちかわ市民活動サポート制度とは？

NPO法人はもちろん、
任意団体まで幅広く応援します

【市民活動を支える2本柱】

1. 市川市市民活動総合支援基金（愛称：市川ハート基金）
→ 市民からの寄附で市民活動団体を支えるしくみ
2. 市川市市民活動団体事業補助金（通称：いちサポ補助金）
→ 社会貢献に係る事業費への補助をするしくみ

1. いちかわハート基金 の流れ

市民等から
の
ふるさと納税

企業等から
の
指定寄附

いちかわハート基金

使い道の一例

① 団体への備品貸出

市民活動団体がイベントで使用する備品を市が購入し、貸し出します。

簡易テント、スピーカー、マイク、
プロジェクター、PC など

② 活動センターの充実化

作業スペースの充実化として、PCの設置や裁断機、紙折り機等の設置しています。印刷機も設置し、費用を抑えて印刷することができます。

③ 活動支援講座の開催

財政面、チラシの作成など、講師を招き、団体向けに講座を開催しています。

2. いちサポ補助金 の流れ

市民活動団体からの申請

審査会等での審査

市民活動団体が実施する
社会貢献活動の事業費用
の一部を補助します

事業の考え方

- ・自主的自発的に行われるもの
- ・市内において実施するもの
- ・営利を目的としないもの
- ・市民を主たる対象とするもの
- ・地域の課題、問題が解決されるもの

*対象経費の1/2

*上限30万（3回まで）

*4回目以降は別途審査

発行：市川市 ボランティア・NPO課

電話：047-712-8704

E-mail：volunteernpo@city.ichikawa.lg.jp



ハート基金について



いちサポ補助金について